

## フードガイド普及啓発戦略について

全国飲食業生活衛生同業組合連合会

### 現在の取り組み状況

現在同検討会が昨年来構成されている旨の報告のみ全国機関紙で行った。  
(17年1月号)

### 当連合会におけるフードガイド活用及び具体的な普及方策

#### フードガイドそのものの普及啓発

- ・ 各都道府県組合を通じて支部を経由し会員への周知を図る。  
(全国41都道府県 1300支部 11万組合員)
- ・ 年次開催の役職員等講習会等において専門講師を派遣し研修する。
- ・ 組合広報紙及び組合HP等の活用による周知
- ・ 関係団体への協力要請(全国指導センター等)  
( \* フードガイドそのものの配布及び部数? )

#### フードガイドを活用した情報提供

- ・ 専門調理師及びフードコーディネーター等との連携により、出版物の発行及び、研修会等を全国数箇所において開催させることにより、新たなメニュー開発や地域における地産地消促進運動にも効果が期待できる。

#### フードガイドを用いた商品開発

- ・ 上記同様のプロセスによりバランスのとれた新メニュー開発、普及を促進する。

### 各ターゲットに対してのフードガイド普及啓発

- ・ 男性肥満者に対する普及啓発
- ・ 単身者に対する普及啓発
- ・ 子育て世代に対する普及啓発  
それぞれの個店での客層に応じた普及啓発活動を組合において指導してゆく  
例えばPOP類、ポスターの作成や健康一言メモ等、個店における創意工夫が必要

## ターゲットに対する問題提起に対応する取り組み

### 野菜不足の解消

外食の機会が多いほど野菜摂取量が少ないというデータからみても外食における野菜を取り込んだメニューの開発及び調理方法の改善を促進する。

( 1食分に含まれる野菜の目安量等を参考に )

### 朝食欠食の解消

ビジネス街等でのモーニングサービス実施の実態調査及び促進

### 脂質への配慮

揚げ物料理の改善、専門店においては油脂の選択（健康エコ油等）食品メーカー等とのタイアップにより商品開発及び斡旋等  
摂取量の年代別把握を行い調理方法の改善や新メニューの開発促進を行う。